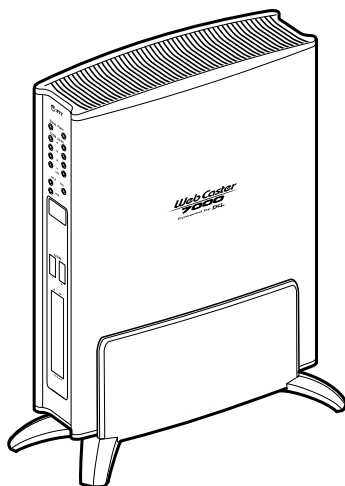
Web Caster 7000

取扱説明書

このたびは、Web Caster 7000をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

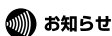
●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

●お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

技術基準適合認定品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠警告	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠注意	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**
STOP お願い	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。**
お知らせ	**この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。**
ワンポイント	**この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。**

※Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft® Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※Windows®の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。
※Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system およびMicrosoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
※Windows® 2000 は、Microsoft ®Windows ®2000 Professional operating system の略です。
※Windows® Meは、Microsoft ®Windows ®Millennium Edition operating system の略です。
※Windows® 98は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
※本書では、Windows® 98とWindows® 98 SEを含めて、Windows® 98と表記しています。
※Netscape®、Netscape Navigator® およびNetscape® Communicator は、米国Netscape® Communications Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※Macintosh®、Mac®、Mac OS® は、米国Apple Computer,Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
※本書では、Mac OS® X 10.0、10.1、10.2を、Mac OS® Xと表記しています。
また、Mac OS® 9.0、9.1、9.2をMac OS® 9.xと、Mac OS® 8.5、8.6をMac OS® 8.xと、表記しています。
※Adobe® Acrobat® Reader™ は、Adobe® Systems Incorporated （アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
※JavaScript® は、米国Sun Microsystems,Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
※その他、本文中での記載の会社名および商品名およびロゴは各社の商標または登録商標です。
※付属品のCD‐ROM は日本語版OS 以外の動作保証はしていません。
※付属品のCD‐ROM はソフトウェアのバックアップとして保有する場合に限り、複製することができます。また、ソフトウェアについてのいかなる改変も禁止とし、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。

ご使用にあたってのお願い

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
●本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.
●本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一、本商品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
●本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。
●本商品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
●本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
●この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観は予告なしに変更することがあります。

厳守事項

●ログインユーザ名とログインパスワードの取り扱いについて

ログインユーザ名とログインパスワードはお客様の大切な個人情報です。
入力は必ずお客様自身で行ってください。

●マニュアルの内容について

機能追加などにより本書の内容は予告なく変更されることがあります。機能追加や変更などに関するサポート情報につきましては、以下のホームページの更新情報を定期的に閲覧していただくことをお勧めします。

当社ホームページ ： http://www.ntt-east.co.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

⚠警告

●万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●本商品・電源アダプタ（電源プラグ）をぬれた手でさわったり、水をかけないようにご注意ください。火災・感電の原因となることがあります。

●万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●万一、内部に水などが入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

●本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。また、改造は法律で禁止されています。

●本商品のキャビネットは外さないでください。感電の原因となることがあります。内部の点検・清掃・修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください。

●ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● AC100V の商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●差込口が 2 つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の電源プラグ等を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。

●ぬれた手で電源アダプタ（電源プラグ）を抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

●電源アダプタコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。火災・感電の原因となります。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源アダプタコードが破損し、火災・感電の原因となります。電源アダプタのコードが傷んだら、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

●テーブルタップや分岐電源コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●電源アダプタは必ず付属のものをお使いになり、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。

⚠警告

- 電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。電源アダプタの刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタのプラグにほこりが付着していないことを確認して電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源アダプタのプラグを点検してください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。なお、点検は当社サービス取扱所にご相談ください。
- 電源アダプタのコードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- 本商品のそばに花びん、コップ、化粧品、薬用品など液体の入った容器や植木鉢、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
- お客様が自作した機器や改造した機器を本商品に接続して使用しないでください。お客様が自作した機器や改造した機器を接続して使用した場合、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を移動させる場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。電源アダプタコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 異常音がしたり、キャビネットが熱くなった状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に点検をご依頼ください。
- 電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜くときは、必ず電源アダプタ（電源プラグ）の本体を持って抜いてください。電源アダプタコードを引っ張ると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- WAN/LANポートに接続したLANケーブルを、商用電源、アナログ電話回線、ディジタル電話回線（ISDN）、PBXディジタル電話回線などには接続しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

お使いになる前に（設置環境）

⚠注意

●直射日光の当たるところや、暖房機器・ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところには置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

●調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所、銀粉や有毒ガスが発生する場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上にものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

●振動、衝撃の多い場所に置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

●本商品を重ね置きしないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因になることがあります。また、通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・感電の原因となることがあります。

●本商品スタンド底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

●高い信頼性を要求される、幹線通信機器や電算機システムでは使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生する可能性があります。

お使いのとき

⚠注意

●近くに雷が発生したときは電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。 落雷によって火災・感電の原因となることがあります。

●本商品や電源アダプタを熱器具に近づけないでください。 キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●本商品の近くに、紙などの燃えやすいものを置かないでください。 発熱により火災・感電の原因となることがあります。

●本商品の通風孔をふさがないでください。 通風孔をふさぐと本商品の内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。
次のような使い方はしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。
- 本棚、タンスの中、押入の中など風通しの悪い場所に置く。
- 紙、本などを載せたり立て掛けたりする

●長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。

⚠注意

●電源アダプタには、同梱されたショートコード以外の延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。
●お手入れをするときは、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。
●本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
●付属品の CD-ROM をオーディオ用プレイヤーで使用しないでください。大音量によりスピーカの破損や耳の障害の原因となることがあります。
●本商品の故障や回線品質の低下によって、データ消失が発生する恐れがあります。あらかじめ冗長性のあるシステム設計やバックアップなどをしてください。

取り扱いについて

お願い

●ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
●落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
●静電気による破損を防ぐため、本商品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシ）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。人体などの静電気は、本商品を破損、またはデータを消失、破損させるおそれがあります。
●水滴が付いたら乾いた布でふきとってください。

置き場所について

お願い

- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。

- 温度が急激に変化する場所や結露の発生しやすい場所に置かないでください。本商品の内部に水滴が付着し、誤動作や故障の原因となることがあります。

- 電気製品、AV・OA 機器などの磁気を帯びている所や電磁波が発生している所に置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音等が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 放送局や無線局などが近く、雑音等が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。

- 硫化水素が発生する場所（温泉地）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。

お使いのとき

お願い

- 電源を再投入する場合、電源を切った状態から5秒以上経った後、電源の再投入を行ってください。5秒以内に電源の再投入をすると、故障の原因となることがあります。

- 本商品プラスチック部品の一部に、光の具合によってはキズに見える部分があります。プラスチック製品の製作過程で生じることがあるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

目次

④ インターネットへの接続

⑤ 付録

「機能詳細取扱説明書」目次

付属CD-ROMには、本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細取扱説明書」がPDFファイルで収録されています。ここではその概要を示します。電子マニュアルの見かたについては、「CD-ROMに収録された機能詳細取扱説明書の見かた」〈P.14〉を参照してください。

⑨資料

⑩追加機能

取扱説明書の構成と内容

本商品の取扱説明書は以下の構成になっています。ご利用の目的に合わせてお読みください。

取扱説明書（本書）

本商品の接続のしかた、コンピュータのネットワーク設定方法、インターネット接続の設定方法、保守サービスのご案内等を記載しています。
ご使用になる前に必ずお読みください。

機能詳細取扱説明書（CD-ROM）

ルータ機能、動作モード設定、オプション品の利用設定、その他のWeb設定等を記載しています。本商品の機能を詳しく知りたいときや、設定を変更したいときなどにお読みください。

CD-ROMに収録された 機能詳細取扱説明書 の見かた

■ Windows® をご使用の方

1 パソコンを起動し、付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。メニューが自動的に表示されます。

2 メニューから「機能詳細取扱説明書を見る」をクリックします。

■ Macintosh® をご使用の方

1 パソコンを起動し、付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

2 CD-ROMのルートにある「menu.html」ファイルをダブルクリックします。メニューが表示されます。

3 メニューから「機能詳細取扱説明書を見る」をクリックします。

- 「機能詳細取扱説明書」をご覧いただくには、Adobe® Acrobat® Reader™ 4.0J以上が必要です。インストールされていない方は、上記と同じ方法でメニューを開き、メニューから「Adobe® Acrobat® Reader™をインストールする」をクリックして、インストールしてください。
- Windows® をお使いの方で、CD-ROMをセットしても自動起動しない場合は、直接CD-ROMを開き、「menu」ファイル（OSの設定によっては「menu.html」と表示される場合もあります）をダブルクリックしてください。

お知らせ

- 画面表示はお使いのパソコンにより一部異なる場合があります。

Web Caster 7000でできること

Web Caster 7000は、NTT東日本 / NTT西日本が提供するインターネット接続サービス「フレッツ・ADSL」「Bフレッツ」に対応し、無線LANやIP電話サービスなどの利用が拡張可能な高機能ブロードバンドルータです。

フレッツで快適インターネット

最大94Mbpsという高スループットの実現で、"フレッツ・ADSL" "Bフレッツ"によるインターネットを快適にご利用いただけます。

LANによるファイルやプリンタの共有

４つのLANポート（10BASE-T／100BASE-TX対応スイッチングHUB）を内蔵。接続したコンピュータ間でLANを構築することで、ファイルやプリンタを共有できます。

Webブラウザを利用した簡単設定

初心者でも簡単に設定できる "かんたん設定ウィザード" を搭載。プロバイダから発行された接続ユーザ名や接続パスワードを、Webブラウザで設定するだけで、すぐにインターネットへ接続することができます。

セキュリティも万全

３段階のセキュリティ設定、必要なときのみポートを開く「SPI（ステートフルパケットインスペクション)」など、安心してブロードバンドをご利用いただけるファイアウォール機能を搭載しています。

VPN（仮想プライベートネットワーク）対応

PPTP、IPSecを利用したVPNを構築できます。たとえば自宅・会社に本商品を設置し、VPNを利用して自宅から会社のネットワークへセキュアにアクセスすることができます。

フレッツ・グループアクセス、フレッツ・グループに対応

NTT東日本提供の「フレッツ・グループアクセス」、NTT西日本提供の「フレッツ・グループ」に対応しています。契約者間でグループを構成し、離れた拠点間でプライベートネットワークを構築することが可能です。

PPPoE複数セッション接続対応

同時に４セッションのPPPoEセッションを接続することができます。これにより、フレッツアクセスサービス専用サイト「フレッツ・スクウェア」をインターネットと同時にご利用いただけます。

UPnP(Universal Plug and Play)対応

Windows® Messenger等のUPnP対応アプリケーションを使えば、ルータを利用する制約無しに音声・ビデオチャット機能が楽しめます。

無線 LAN の利用

別売オプションの「Web Caster FT-STC-Pa」、「Web Caster FT-STC-Pb」、「Web Caster FT-STC-Pa/g」をPC カードスロットに追加することで、ワイヤレスによるインターネットやLAN の利用が可能です。

ホームページの公開

市販の PC カード Type Ⅱ に対応したフラッシュメモリやコンパクトフラッシュ等を PC カードスロットに追加し、ダイナミック DNS サービスと組み合わせることで、自作のホームページをインターネットに公開することが可能になります。写真などの画像ファイルの公開も簡単です。

IP 電話サービスの利用

別売オプションの「Web Caster 7000 VoIPユニット」を専用拡張スロットに追加することで、簡単にIP電話サービスを利用することができます。

USB カメラ撮影画像の公開

別売オプションのUSB カメラ「EE260」を USB ポートに接続することで、外出先から自宅の様子をインターネット経由で確認することができます。また、JPEG 形式に対応したブラウザ搭載の携帯電話からの閲覧が可能です。

お知らせ

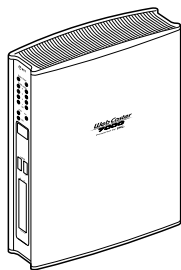
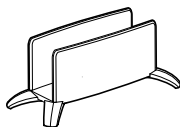
最新のオプション機器の販売につきましては、当社のホームページをご参照ください。

当社ホームページ ： http://www.ntt-east.co.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

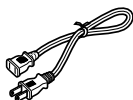
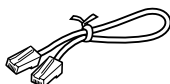
第1章 お使いになる前に

この章では、付属品や各部の名称、操作の流れ、お使いになる前に確認していただきたいことを説明します。

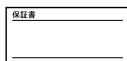
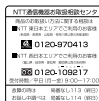
セットを確認してください

本体

Web Caster 7000本体（1台）

スタンド（1台）

付属品

電源アダプタ（1個）

ショートコード
（1本、20cm）

LANケーブル
（ストレート1本、1m）

PCカードスロットカバー
（1個）

取扱説明書（本書1冊）

保証書（1枚）

NTT通信機器お取扱
相談センタシール（1枚）

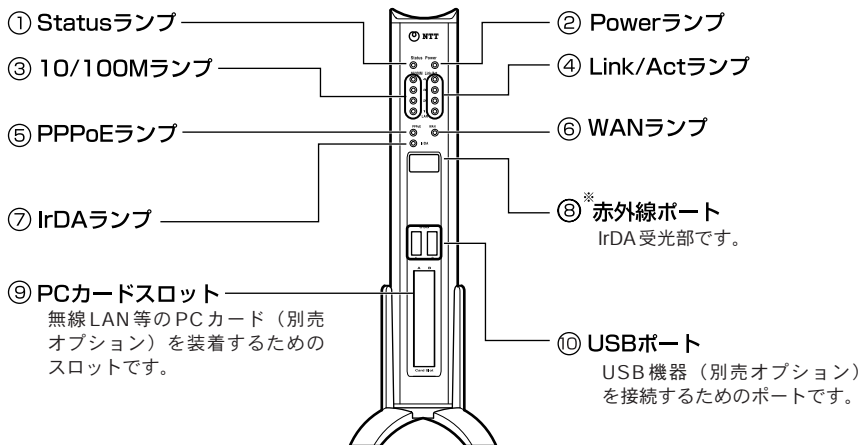
CD-ROM（1枚）

! ご注意

- **セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。**
- **本商品に2台以上パソコンをつなぐ場合は、必要な数だけLANケーブル（ストレート）をお客様でご用意ください。**

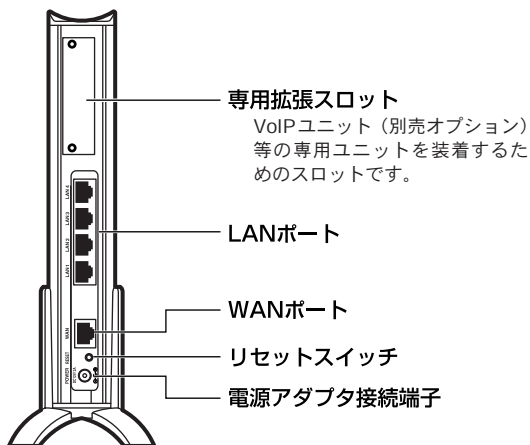
各部の名称とはたらき

具体的な操作方法は、第2章以降で解説します。
ここでは各部の呼び方と大体の機能を理解してください。

前面図とランプの表示

【ランプ表示】

名称	色	つき方	機能説明
①Status ランプ	黄	点滅	起動準備中です。
	緑	点灯	正常に起動している状態です。
②Power ランプ	緑	点灯	電源が投入されています。
		消灯	電源が切れています。
③10/100M ランプ	緑	点灯	LANポートの接続が確立しているとき、100BASE-TXで接続しています。
		消灯	LANポートの接続が確立しているとき、10BASE-Tで接続しています。
④Link/Act ランプ	緑	点灯	LANポートでの接続が確立しています。
		点滅	LANポートでデータを送受信しています。
		消灯	LANポートで接続が確立していません。
⑤PPPoE ランプ	緑	点灯	WANポートでPPPoE接続が確立しています。
		消灯	WANポートでPPPoE接続が確立していません。
⑥WAN ランプ	緑	点灯	WANポートでの接続が確立しています。
		点滅	WANポートでデータを送受信しています。
		消灯	WANポートの接続が確立していません。
⑦IrDA ランプ	緑	点灯	赤外線ポートでの接続が確立しています。
		点滅	赤外線ポートでデータを送受信しています。
		消灯	赤外線ポートの接続が確立していません。

※ 赤外線ポートは、今後のファームウェアバージョンアップによって利用可能になる予定です。

背面図とポートのはたらき

■ポート

ポート名称	表示	機能説明	備考
LANポート	LAN1～LAN4	LANケーブルを使用して、パソコンと接続します。（10BASE-T / 100BASE-TX）	8ピンモジュラージャック
WANポート	WAN	LAN ケーブルを使用して、ADSL モデム（B フレッツの場合は回線終端装置）と接続します。（10BASE-T / 100BASE-TX）	8ピンモジュラージャック
リセットスイッチ	RESET	本商品の電源を入れ直したり、設定を初期化するために使用するスイッチです。	
電源アダプタ接続端子	POWER	電源アダプタのコネクタを差し込みます。	

インターネットに接続するまでの流れ

本商品を使用してインターネットに接続できるようになるまでの基本的な流れを示します。

Web Caster 7000を設置・接続する

☛ P.2-2 ～ P.2-6（『設置する』,『ADSLモデム/Bフレッツ用回線終端装置との接続』,『電源をONにする』）を参照してください。

パソコンの設定を行う

☛ P.3-2 ～ P.3-10（『パソコンのネットワーク設定を行う』）を参照してください。

LAN ケーブルでパソコンを接続する

☛ P.3-11 ～ P.3-16（『パソコンと本商品をつなぐ』,『本商品とパソコンとの接続を確認する』）を参照してください。

Web ブラウザでインターネットへの接続設定をする

☛ P.4-2～P.4-11（『本商品の設定を行う』）を参照してください。

●「フレッツ接続ツール」は使用しません

インターネットに接続する

☛ P.4-12（『インターネットに接続する』）を参照してください。

あらかじめ確認してください

本商品を接続する前に、以下の項目をチェックしてください。

チェックポイント ❶
"フレッツ・ADSL" または "Bフレッツ" の契約はお済みですか?

本商品をご利用になるには、" フレッツ・ADSL " または " Bフレッツ " へのお申し込みが必要です。当社との契約をお済ませください。

※本商品は" フレッツ・ADSL" または" Bフレッツ "以外のDHCPによるインターネット接続等にも対応しております。詳しくは本商品に付属のCD-ROMに収録されている機能詳細取扱説明書（PDFファイル）で「6章 WAN側の設定」の「PPPoE以外の接続設定」をご覧ください。

チェックポイント ❷
プロバイダとの契約、工事はお済みですか?

" フレッツ・ADSL" または " Bフレッツ" に対応したプロバイダへのご契約が必要となります。また、プロバイダによる工事が完了するまでは、インターネットへ接続することはできません。

※" フレッツ・ADSL" または" Bフレッツ " に対応したプロバイダについては、当社ホームページからも参照できます。

《当社フレッツサービス 公式ホームページ》
http://flets.com/
http://www.ntt-west.co.jp/flets/
（平成15年10月現在）

チェックポイント ❸
ADSLモデム または Bフレッツ用回線終端装置のご用意はお済みですか?

本商品をご利用になるには、ADSLモデムまたはBフレッツ用回線終端装置が必要です。

チェックポイント ❹
ケーブルはお揃いですか?

本商品とADSLモデムまたはBフレッツ用回線終端装置を接続するためのLANケーブル（ストレートタイプまたはクロスタイプ）が必要です（ADSLモデムまたはBフレッツ用回線終端装置に付属している場合もあります）。
また、本商品とパソコンを接続するためのLANケーブル（ストレートタイプ）は1本のみ付属しています。 2台以上のパソコンを接続する場合は、台数分のLANケーブル（ストレートタイプ）をご用意ください。

チェックポイント ❺
パソコンにLANポートはありますか?

本商品とパソコンとを接続する場合、パソコンにLANポートが必要です。
(10 BASE-T、100 BASE-TXのどちらでも構いません)
お使いのパソコンにLANポートがない場合、LANボードまたはLANカードをご用意のうえ、パソコンに取り付けてください。
取り付け方法や、動作確認の方法については、LANボードまたはLANカードの取扱説明書をご覧ください。

チェックポイント ❻
下記のWebブラウザはインストールされていますか?

本商品はWebブラウザで設定を行います。
パソコンに次のWebブラウザが必要です。インストールされているか確認してください。

Windows® の場合　Microsoft® Internet Explorer 5.0以上または
Netscape Navigator® 6.0以上

Mac OS® の場合　: Microsoft® Internet Explorer 5.0以上または
Netscape Navigator® 6.0以上

STOP **お願い**

● Web ブラウザでJavaScript が使用できるかどうか、設定を確認してください。

※Windows® でMicrosoft® Internet Explorer6.0 を使用している場合の例
[ツール]メニュー→[インターネットオプション]→[セキュリティ]タブ→[レベルのカスタマイズ]ボタン→[セキュリティの設定]ダイアログで[スクリプト]の[アクティブスクリプト]を有効にします。

● Web ブラウザやOS の設定でプロキシサーバを使用する設定になっていると、正しく操作できないことがあります。

※説明に使用している画面表示は、お使いのWebブラウザやお使いのOSバージョンによって異なります。

※回線の状況や設定によっては、設定内容がWebブラウザに表示されるまでに時間がかかる場合があります。

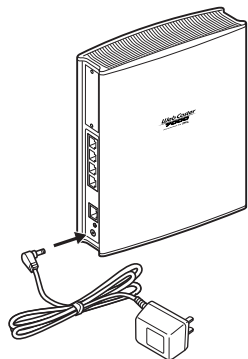
第2章

本商品の設置

この章では、本商品を設置し、電源をONにするまでを解説します。この段階では、パソコンとはつなぎません。

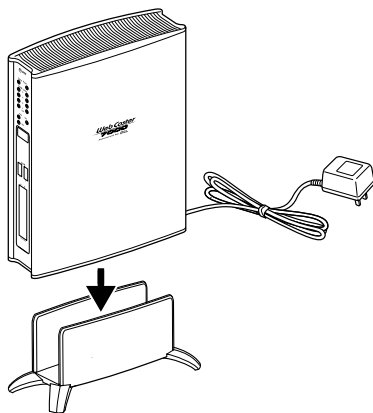
設置する

電源アダプタのコネクタを差し込む

本商品の電源アダプタ接続端子に電源アダプタのコネクタを差し込んでください。
電源アダプタは、まだ電源コンセントに差し込まないでください。

⚠警告

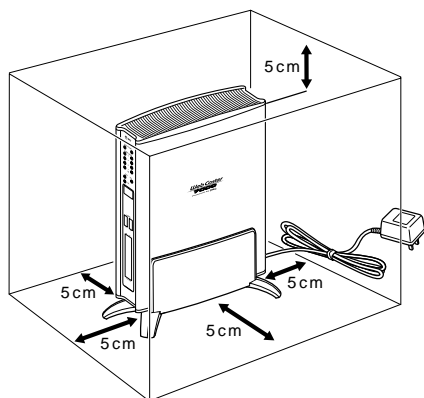
付属の電源アダプタ以外は
使用しないでください。

スタンドをつける

図のように、本商品本体にスタンドをつけて縦置きでご使用ください。

⚠注意

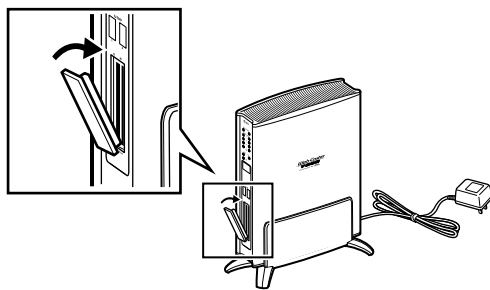
本商品は横置きでは
使用できません。

本商品を設置する

本商品は、前後左右5cm、上5cm以内に、パソコンや壁などの物がない場所に設置してください。

⚠注意

換気が悪くなると本体内部の温度が上がり、故障の原因になります。

 お知らせ

PCカードスロットを使用しない場合は、本商品に付属のPCカードスロットカバーを取り付けてください。

⚠注意

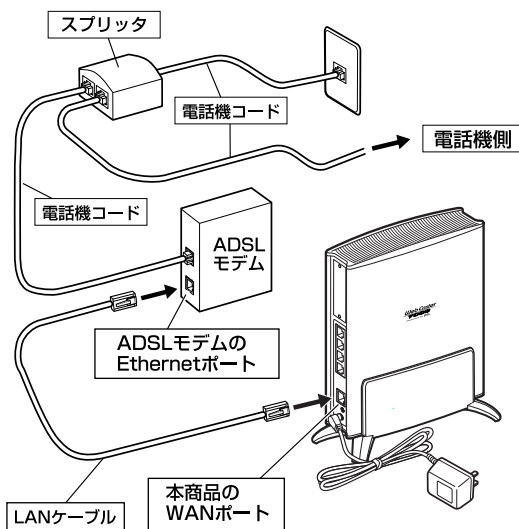
PCカードスロットカバーが、PCカードスロットの中に落ちないように、お気をつけください。

ADSLモデム/“Bフレッツ”用回線終端装置との接続

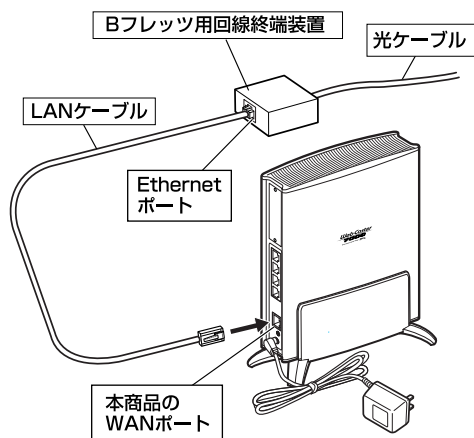
LANケーブルをご用意ください

ストレートタイプまたはクロスタイプのLANケーブルをご用意ください。（ADSLモデム / “Bフレッツ”回線終端装置側に付属していることもあります。）なお、本商品のWANポートはどちらのタイプのLANケーブルでも接続可能です。

つなぎましょう（ADSLモデムの場合）

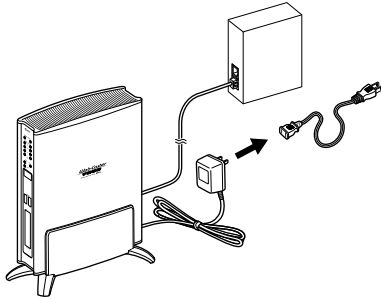
本商品のWANポートと、ADSLモデムのEthernetポートを、LANケーブルでつなぎます。

※この図に含まれる電話機コード、LANケーブルは、本商品の付属品ではありません。

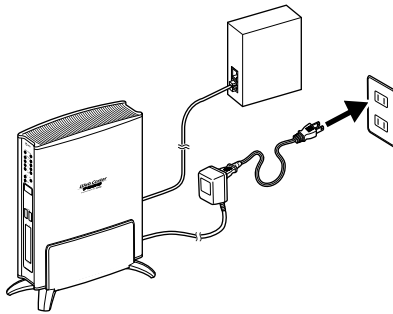
つなぎましょう（“Bフレッツ”用回線終端装置の場合）

本商品のWANポートと、‘Bフレッツ’ 用回線終端装置のEthernetポートを、LANケーブルでつなぎます。

※この図に含まれる光ケーブル、LANケーブルは、本商品の付属品ではありません。

電源をONにする

電源アダプタを電源コンセントに差し込んで、電源をONにします。その後正常に通信が行われているか、ランプを見て確認します。

1　電源アダプタのままでは電源コンセントに差し込みにくい場合、電源アダプタに付属のショートコードをつなぎます。

※電源アダプタのままで問題のない場合は、ショートコードをつながなくても構いません。

2　電源アダプタまたはショートコードを電源コンセントに差し込みます。

3　電源がONになります。本商品前面のランプを確認します。

ランプ	状態
Powerランプ	点灯します。
Statusランプ	電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに差し込んだときにオレンジ色で点滅し、本商品の起動後は緑色で点灯します。
WANランプ	点灯します。

Powerランプ、WANランプが点灯しない場合は、「故障かなと思ったら」の以下のページを参照のうえ、対処してください。

- Powerランプ → 「a.本商品前面のPowerランプが点灯しない」〈P.5-3〉
- WANランプ → 「b.本商品前面のWANランプが点灯しない」〈P.5-3〉

第3章 パソコンの準備

インターネットに接続するために、パソコンのネットワーク設定を確認し、必要に応じて設定を変更します。
なお、本商品に接続するすべてのパソコンで、この設定を行う必要があります。
その後、パソコンと本商品をつないでください。

パソコンのネットワーク設定を行う

パソコンのネットワーク設定を確認し、必要に応じて設定を行います。

※本商品に接続するすべてのパソコンで、この設定を行ってください。

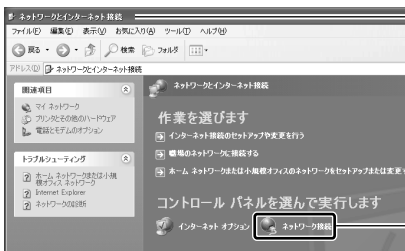
設定方法はOSによって異なります。お使いのOSに該当するページをお読みください。

お使いのOS	解説ページ
Windows® XP	P.3-2
Windows® 2000	P.3-4
Windows® Me/98	P.3-6
Mac OS® X	P.3-9
Mac OS® 9.x / 8.x	P.3-10

Windows® XPの場合

ご注意

- **この作業を行うには「コンピュータの管理者」または同等の権限を持つユーザでログオンする必要があります。**
- **以下の操作手順および画面表示は、Windows® XPの初期状態の場合です。Windows® XPの設定によっては異なる場合があります。**

1 ［スタート］－［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。

［ネットワークとインターネット接続］ウィンドウが表示されます。

2 ［ネットワーク接続］をクリックします。

［ネットワーク接続］ウィンドウが表示されます。

3 ［ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

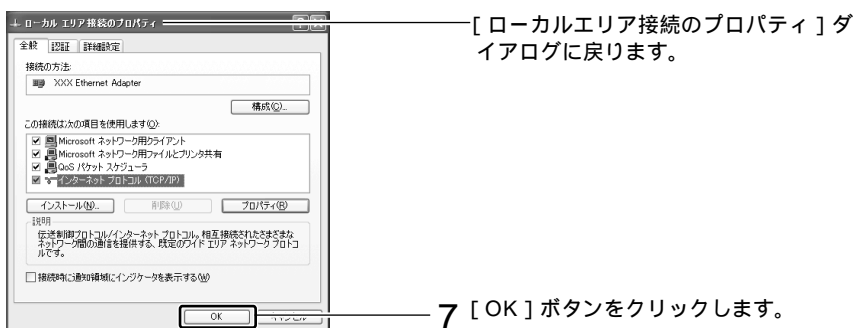
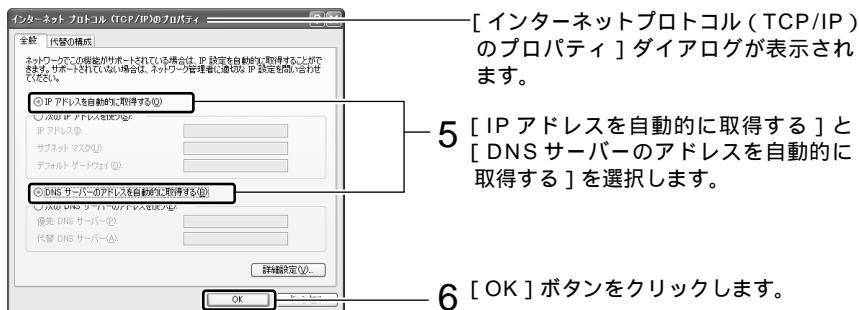
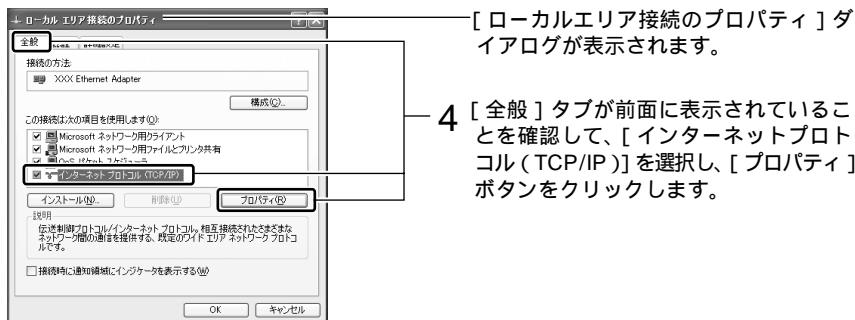
［ローカルエリア接続のプロパティ］ダイアログが表示されます。

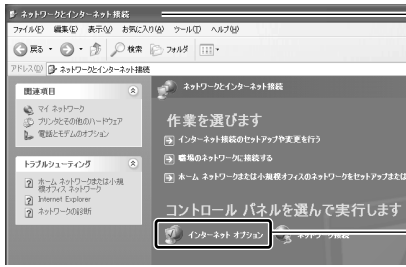
4 ［全般］タブが前面に表示されていることを確認して、［インターネットプロトコル（TCP/IP)］を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

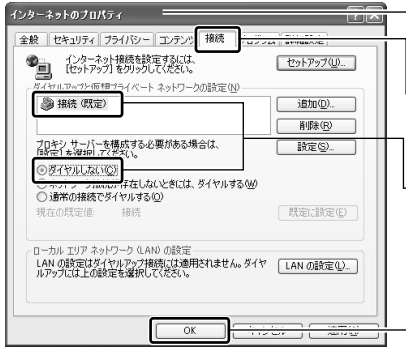
［インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ］ダイアログが表示されます。

5 ［IP アドレスを自動的に取得する］と［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択します。

6 ［OK］ボタンをクリックします。

［ローカルエリア接続のプロパティ］ダイアログに戻ります。

7 ［OK］ボタンをクリックします。

8 次に、［スタート］－［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。

［ネットワークとインターネット接続］ウィンドウが表示されます。

9 ［インターネットオプション］をクリックします。

［インターネットのプロパティ］ダイアログが表示されます。

10 ［接続］タブをクリックします。

11 リストにダイヤルアップの設定がある場合は［ダイヤルしない］を選択します。

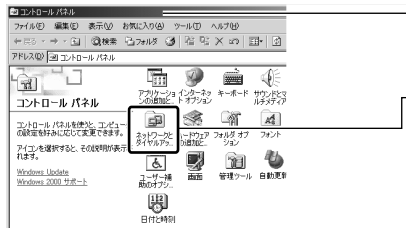
12 ［OK］ボタンをクリックします。

以上で設定は終了です。「パソコンと本商品をつなぐ」〈P.3-11〉へ進んでください。

Windows® 2000の場合

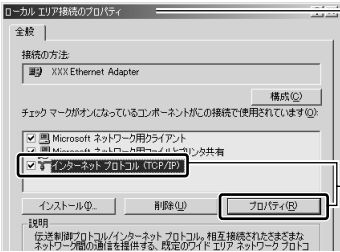
ご注意

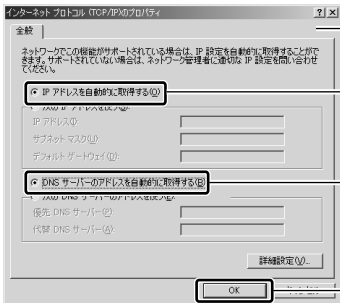
この作業を行うには「Administrator」または同等の権限を持つユーザでログオンする必要があります。

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

［コントロールパネル］ウィンドウが表示されます。

2 ［ネットワークとダイヤルアップ接続］アイコンをダブルクリックします。

［ネットワークとダイヤルアップ接続］ウィンドウが表示されます。

3 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

［ローカルエリア接続のプロパティ］ダイアログが表示されます。

4 ［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

［インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ］ダイアログが表示されます。

5 ［IP アドレスを自動的に取得する］と［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択します。

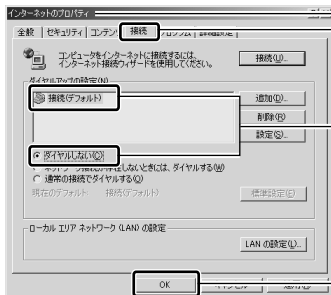
6 ［OK］ボタンをクリックします。

［ローカルエリア接続のプロパティ］ダイアログに戻ります。

7 ［OK］ボタンをクリックします。

8 次に、［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

［コントロールパネル］ウィンドウが表示されます。

9 ［インターネットオプション］アイコンをダブルクリックします。

［インターネットのプロパティ］ダイアログが表示されます。

10 ［接続］タブをクリックします。

11 リストにダイヤルアップの設定がある場合は［ダイヤルしない］を選択します。

12 ［OK］ボタンをクリックします。

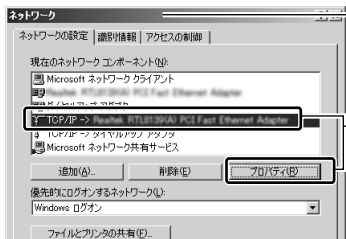
以上で設定は終了です。「パソコンと本商品をつなぐ」〈P.3-11〉へ進んでください。

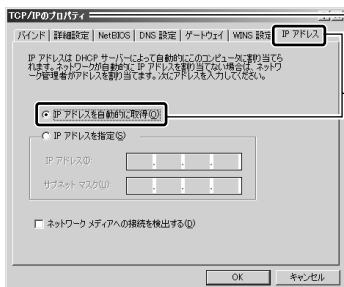
Windows® Me/98の場合

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

［コントロールパネル］ウィンドウが表示されます。

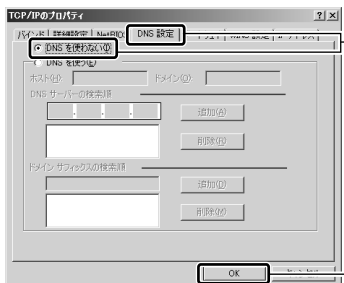
2 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

※ Windows® Me で［ネットワーク］が表示されない場合は、コントロールパネル左側の［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する］をクリックしてください。

［ネットワーク］ダイアログが表示されます。

3 リストの［TCP/IP －＞お使いの LAN カード（または LAN ボード）］を選択し、［プロパティ］ボタンをクリックします。

［TCP/IP のプロパティ］ダイアログが表示されます。

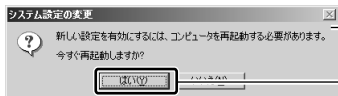
4 ［IP アドレス］タブをクリックし、［IP アドレスを自動的に取得］を選択します。

5 ［ゲートウェイ］タブをクリックし、［インストールされているゲートウェイ］に何もないことを確認します。

数字（IP アドレス）が表示されている場合は、表示されている数字を選択し、右の［削除］ボタンをクリックします。複数表示されている場合は、この操作をくり返して、すべての内容を削除してください。

6 ［DNS 設定］タブをクリックし、［DNS を使わない］を選択します。

7 ［OK］ボタンをクリックします。

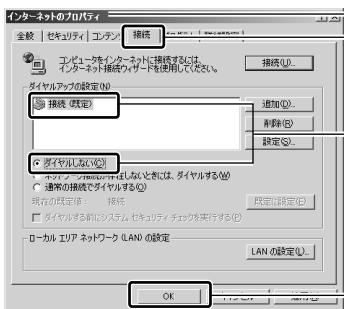
［ネットワーク］ダイアログに戻ります。

8 ［OK］ボタンをクリックします。

再起動を促すメッセージが表示されます。

9 ［はい］ボタンをクリックして、再起動します。

10 再起動後、［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

［コントロールパネル］ウィンドウが表示されます。

11 ［インターネットオプション］アイコンをダブルクリックします。

［インターネットのプロパティ］ダイアログが表示されます。

12 ［接続］タブをクリックします。

13 リストにダイヤルアップの設定がある場合は［ダイヤルしない］を選択します。

14 ［OK］ボタンをクリックします。［コントロールパネル］に戻ります。

➡ 以上で設定は終了です。「パソコンと本商品をつなぐ」〈P.3-11〉へ進んでください。

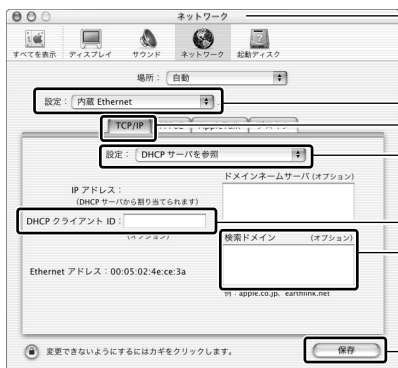
Mac OS® Xの場合

※表示される項目名は、Mac OS® のバージョンによって異なります。

1 **アップルメニューから［システム環境設定］を選択します。**

［システム環境設定］ウィンドウが表示されます。

2 **［ネットワーク］アイコンをクリックします。**

※ここに［ネットワーク］アイコンがない場合は、［すべてを表示］アイコンをクリックします。

［ネットワーク］ウィンドウが表示されます。

3 **［設定］で、［(内蔵) Ethernet］を選択します。**

4 **［TCP/IP］タブをクリックし、［設定］で、［DHCP サーバを参照］を選択します。**

5 **［DHCP クライアント ID］と、［検索ドメイン］を空白にします。**

6 **［保存］ボタンをクリックします。**

以上で設定は終了です。「パソコンと本商品をつなぐ」〈P.3-11〉へ進んでください。

Mac OS® 9.x / 8.xの場合

※表示される項目名は、Mac OS® のバージョンによって異なります。

1 **アップルメニューから［コントロールパネル］の［TCP/IP］を選択します。**

［TCP/IP］ウィンドウが表示されます。

2 **［経由先］で［Ethernet］を選択し、［設定方法］で［DHCP サーバを参照］を選択します。**

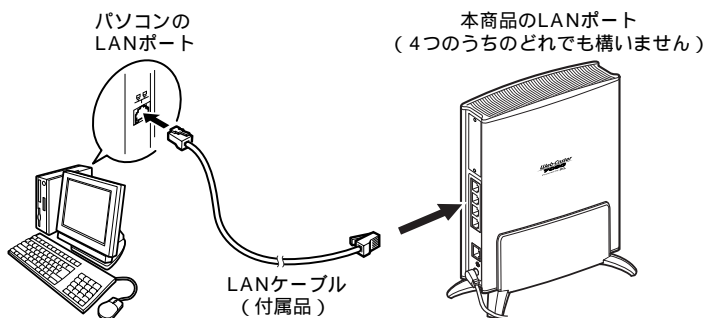
3 **［DHCP クライアント ID］と、［検索ドメイン名］を空白にします。**

4 **クローズボックスをクリックして、ウィンドウを閉じます。**
確認のウィンドウが表示されたら［保存］ボタンをクリックします。

以上で設定は終了です。「パソコンと本商品をつなぐ」〈P.3-11〉へ進んでください。

パソコンと本商品をつなぐ

ネットワークの設定が終了したら、本商品のLANポートに、パソコンを1台つなぎます。

1 **付属のLANケーブル（ストレートタイプ）を使用して、本商品とパソコンをつなぎます。**

2 **本商品のLink/Actランプを確認します。**
LANケーブルを接続したLANポートの番号と、同じ番号のLink/Actランプが点灯していれば、正しく接続されています。

Link/Actランプが点灯しない場合は、「故障かなと思ったら」の「c.本商品前面のLink/Actランプが点灯しない」〈P.5-4〉を参照のうえ、対処してください。

 お知らせ

本商品に5台以上のパソコンをつなぐ場合は、別途HUBをご用意ください。HUBを使用した場合も、本商品のLink/Actランプが点灯すれば正しく接続されています。HUBについての詳細はHUBの取扱説明書をご覧ください。

本商品とパソコンとの接続を確認する

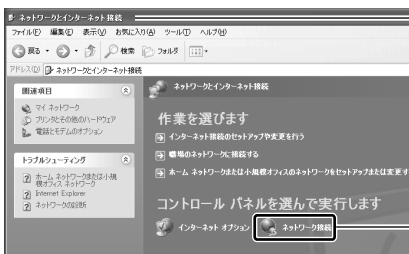
ここでは、パソコンに正しいIPアドレスが割り当てられているかどうかを確認します。確認の方法はOSごとに異なります。お使いのOSに該当するページをお読みください。

お使いのOS	解説ページ
Windows® XP	P.3-12
Windows® 2000	P.3-13
Windows® Me/98	P.3-14
Mac OS® X	P.3-15
Mac OS® 9.x / 8.x	P.3-16

ワンポイント

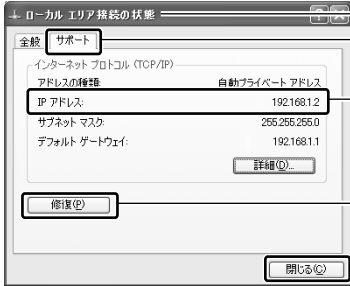
- 本商品のDHCPサーバ機能は、初期状態で有効に設定されているため、パソコンにIPアドレスが自動的に割り当てられます。
- 本商品のLAN側IPアドレスは、初期状態で「192.168.1.1」に設定されています。IPアドレスを変更する場合は付属のCD-ROMに収録されている「機能詳細取扱説明書」（PDFファイル）で、「6章 LAN側の設定」の「IPアドレスの設定」をご覧ください。

Windows® XPの場合

1 ［スタート］－［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。

［ネットワークとインターネット接続］ウィンドウが表示されます。

2 ［ネットワーク接続］をクリックします。

［ネットワーク接続］ウィンドウが表示されます。

3 ［ローカルエリア接続］を右クリックして、メニューから［状態］を選択します。

［ローカルエリア接続の状態］ダイアログが表示されます。

4 ［サポート］タブをクリックします。

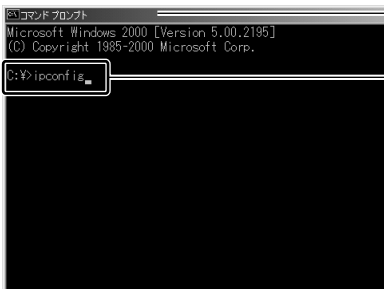
5 ［IP アドレス］で、IP アドレスが「192.168.1.x」になっていることを確認します。（x は 1 以外の任意の数字です）

※別の IP アドレスが表示された場合は、［修復］ボタンをクリックしてください。

6 ［閉じる］ボタンをクリックします。

「第4章 インターネットへの接続」〈P.4-1〉へ進んでください。

Windows® 2000の場合

1 ［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックします。

［コマンドプロンプト］の画面が表示されます。

2 「C:\>」に続けて、「ipconfig」と入力し、キーボードの［Enter］キーを押します。

3 パソコンの準備

同じ画面に、[Ethernet　adapter ローカル　エリア接続 :] の情報が表示されます。

3 [IP Address] の項目で、IP アドレスが「192.168.1.x」になっていることを確認します（x は 1 以外の任意の数字です）。

※別の IP アドレスが表示された場合は、「C:\>」に続けて、「ipconfig　/renew」と入力し、[Enter] キーを押します。正しい IP アドレスが取得されます。

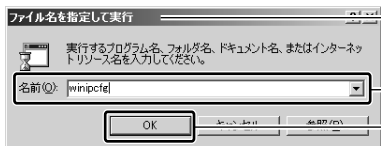
4 コマンドプロンプトの画面を閉じます。
「C:\>」に続けて、「exit」と入力します。[Enter] キーを押すと、この画面が閉じます。

「第4章 インターネットへの接続」〈P.4-1〉へ進んでください。

Windows® Me/98の場合

ご注意

パソコンの電源が ON になっている場合は、いったん Windows® を終了し、パソコンの電源を OFF にしてから、再度電源を ON にして、下記の作業をしてください。

1 [スタート] － [ファイル名を指定して実行] をクリックします。

[ファイル名を指定して実行] ウィンドウが表示されます。

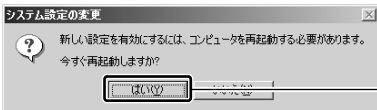
2 [名前] 欄に「winipcfg」と入力し、[OK] ボタンをクリックします。

［IP 設定］ウィンドウが表示されます。

3 ▼ ボタンをクリックします。
表示されたリストから、お使いのLAN カード / ボードを選択します。

4 IP アドレスが「192.168.1.x」になっていることを確認します（x は 1 以外の任意の数字です）。

※別の IP アドレスが表示された場合は、［解放］ボタンをクリックし、［書き換え］ボタンをクリックしてください。

5 ［OK］ボタンをクリックします。

6 再起動を促すメッセージが表示された場合は、［はい］ボタンをクリックして、再起動します。

「第4章 インターネットへの接続」〈P.4-1〉へ進んでください。

Mac OS® Xの場合

※表示される項目名は、Mac OS® のバージョンによって異なります。

1 アップルメニューから［システム環境設定］を選択します。

［システム環境設定］ウィンドウが表示されます。

2 ［ネットワーク］アイコンをクリックします。
※ここに［ネットワーク］アイコンがない場合は、［すべてを表示］アイコンをクリックします。

［ネットワーク］ウィンドウが表示されます。

3 ［設定］で、［(内蔵) Ethernet］を選択します。

4 ［TCP/IP］タブをクリックし、［IP アドレス］に表示されている IP アドレスが「192.168.1.x」になっていることを確認します（x は 1 以外の任意の数字です）。

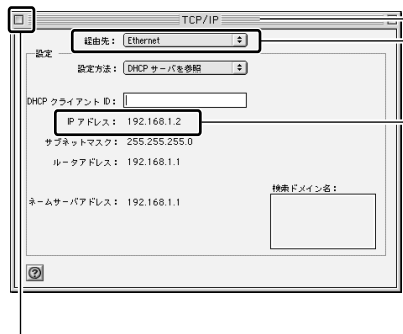
※別の IP アドレスが表示された場合は、Macintosh® を再起動してください。正しい IP アドレスが自動取得されます。

5 クローズボタンをクリックして、ウィンドウを閉じます。

「第4章 インターネットへの接続」〈P.4-1〉へ進んでください。

Mac OS® 9.x / 8.xの場合

※表示される項目名は、Mac OS® のバージョンによって異なります。

1 アップルメニューから［コントロールパネル］の［TCP/IP］を選択します。

［TCP/IP］ウィンドウが表示されます。

2 ［経由先］で［Ethernet］を選択し、［IP アドレス］に表示されている IP アドレスが「192.168.1.x」になっていることを確認します（x は 1 以外の任意の数字です）。

※別の IP アドレスが表示された場合は、Macintosh® を再起動してください。正しい IP アドレスが自動取得されます。

3 クローズボックスをクリックして、ウィンドウを閉じます。

「第4章 インターネットへの接続」〈P.4-1〉へ進んでください。

第4章 インターネットへの接続

インターネットに接続するために、Webブラウザを使って本商品の設定を変更します。
本商品の設定方法は、インターネットの接続方法によって異なります。

本商品の設定を行う

本商品の設定は、Webブラウザから「設定ページ」を開いて行います。
初めてインターネットに接続するときは、設定ページの「かんたん設定ウィザード」を使用します。

かんたん設定ウィザードを使う前に

“フレッツ・ADSL”または“Bフレッツ”による接続では、どちらの場合もPPPoEというプロトコルを使います。そのため、かんたん設定ウィザードでの操作方法は同じです。設定を開始する前に、以下の項目をチェックしてください。

チェックポイント❶ プロバイダから通知された情報はお手元にありますか？

設定には、プロバイダから通知される、以下の情報が必要です。

・接続ユーザ名
・接続パスワード
・DNSサーバのIPアドレス（プロバイダから通知された場合のみ）

プロバイダとの契約時に通知された情報をご用意ください。

※プロバイダによって、上記の呼び方が異なる場合があります。
（例）接続ユーザ名 → ユーザID、アカウント、ユーザ名など
ご不明な場合はプロバイダにお問い合わせください。

チェックポイント❷ フレッツ接続ツールを起動していませんか？

設定を行うパソコンで「フレッツ接続ツール」が起動していないことを確認してください。
起動しているときは、終了してください。

ワンポイント

●本商品は、“フレッツ・ADSL”または“Bフレッツ”以外のDHCPを利用した接続にも対応しております。詳しくは本商品に付属のCD-ROMに収録されている機能詳細取扱説明書（PDFファイル）で「6章 WAN側の設定」の「PPPoE以外の接続設定」をご覧ください。

●固定IPアドレスで接続する場合（固定IPアドレス付与サービスをご利用の場合）は、さらに以下の情報もご用意ください。

・IPアドレス
・サブネットマスク
・デフォルトゲートウェイのIPアドレス
・DNSサーバのIPアドレス

※プロバイダによって、上記の呼び方が異なる場合があります。ご不明な場合はプロバイダにお問い合わせください。

設定ページを開く

かんたん設定ウィザードを使うために、設定ページを開きます。

1 **本商品につないだパソコンでWebブラウザを起動し、アドレスを入力する欄に「http://192.168.1.1/」あるいは「http://wbc7000.home/」と入力します。**

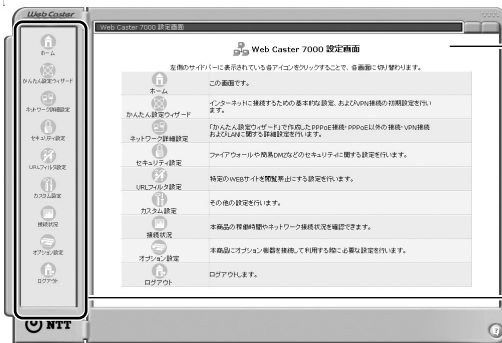
初回のみ、この画面に切り替わります。
内容をご確認ください。

2 **［OK］ボタンをクリックします。**

初回のみ［ログイン設定］画面が表示されます。（2 回目以降は［ログイン］画面が表示されます。）

3 **本商品の設定ページにログインするための、ログインユーザ名とログインパスワードを設定します（任意の内容で入力してください）。**

［ログインユーザ名］	任意のログインユーザ名を入力します。半角英字または数字を使用し、1 ～ 64 文字の範囲で入力してください。
［新しいログインパスワード］	任意のパスワードを入力します。半角英字または数字を使用し、1 ～ 64 文字の範囲で入力してください。なお、入力したログインパスワードはすべて「*」または「・」で表示されます。
［新しいログインパスワードの確認］	［新しいパスワード］と同じログインパスワードを再度入力します。なお、入力したログインパスワードはすべて「*」または「・」で表示されます。

4 **［OK］ボタンをクリックします。**

［Web Caster 7000 設定画面］に切り替わります。

「サイドバー」と呼びます。

お知らせ

設定したログインユーザ名、ログインパスワードは、今後の設定変更時等に必要になります。下欄に控えておくことをお勧めします。なお、誤ってログインユーザ名、ログインパスワードを忘れた場合は、「本商品を初期化する」〈P.5-10〉を参照して、初期化を行ってください。

ログインユーザ名： ____________________　　**ログインパスワード：** ____________________

かんたん設定ウィザードで設定する

1 サイドバーの［かんたん設定ウィザード］アイコンをクリックします。

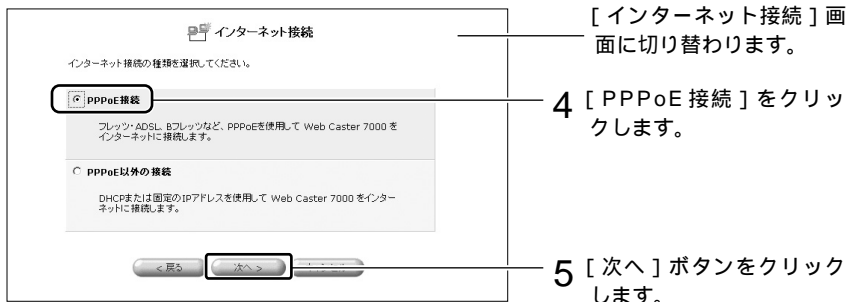
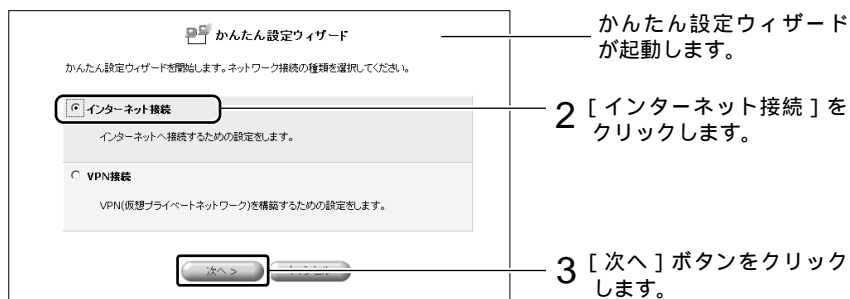
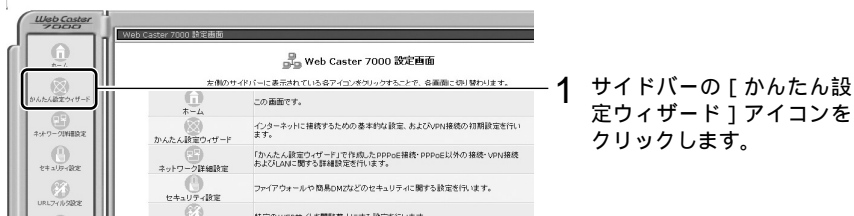
かんたん設定ウィザードが起動します。

2［インターネット接続］をクリックします。

3［次へ］ボタンをクリックします。

［インターネット接続］画面に切り替わります。

4［PPPoE 接続］をクリックします。

5［次へ］ボタンをクリックします。

［PPPoE 接続］画面に切り替わります。

6 プロバイダから通知された情報を、次のように設定します。

［接続ユーザ名］	プロバイダから指定された接続ユーザ名を入力します。「webcaster@webcaster.net」のように、すべて入力してください。また、半角英数字で入力してください。
［接続パスワード］	プロバイダから指定された接続パスワードを入力します。半角英数字を使用し、大文字、小文字を正しく入力してください。なお、入力した接続パスワードはすべて「*」または「・」で表示されます。

7 ［次へ］ボタンをクリックします。

［設定完了］画面に切り替わります。内容を確認してください。

8 ［完了］ボタンをクリックします。［完了］ボタンは続けてクリックせずに、1 回のみクリックしてください。

［Web Caster 7000 設定画面］に戻ります。

9 **PPPoE による接続の設定が作成されたことを確認します。サイドバーから［ネットワーク詳細設定］アイコンをクリックします。**

［ネットワーク詳細設定］画面に切り替わります。

10 ［WAN PPPoE］と表示されていることを確認します。

11 ［戻る］ボタンをクリックします。［Web Caster 7000 設定画面］に戻ります。

12 **プロバイダからDNSサーバのIPアドレスが指定されている場合は、さらにDNSサーバの設定を行う必要があります。**
プロバイダからDNSサーバのIPアドレスが指定されていない場合は、次の操作（①～⑧）は不要です。

① サイドバーから［ネットワーク詳細設定］アイコンをクリックします。

［ネットワーク詳細設定］画面に切り替わります。

② ［WAN PPPoE］の 修正 ボタンをクリックします。

［ネットワーク接続 WAN PPPoE］画面に切り替わります。

③［切断］ボタンをクリックして、インターネット側への接続を切断します。

［ステータス］欄が「無効」に切り替わったことを確認してください。

④［詳細設定］ボタンをクリックします。

［詳細設定 WAN PPPoE］画面に切り替わります。

⑤ DNS サーバのプルダウンメニューを［DNS サーバアドレスを固定設定する］にして、［プライマリ DNS サーバ］［セカンダリ DNS サーバ］に、プロバイダから指定された DNS サーバの IP アドレスを設定します。

※プロバイダからの指定が 1 つだけだった場合は、「プライマリ DNS サーバ」にのみ入力してください。

⑥［OK］ボタンをクリックします。

これで設定が終了しました。

➡ プロバイダから固定のIPアドレスを取得している場合は、必要事項を設定する必要があります。「固定IPアドレス付与サービスを使用しているとき」〈P.4-10〉へ進んでください。

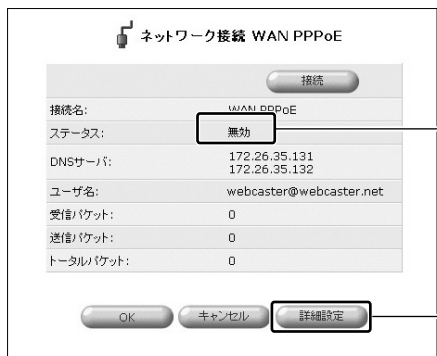
固定IPアドレス付与サービスを使用しているとき

プロバイダからIPアドレスを自動取得している場合は、次の操作は不要です。「インターネットに接続する」〈P.4-12〉へ進んでください。

1 サイドバーから［ネットワーク詳細設定］アイコンをクリックします。

2 ［ネットワーク詳細設定］画面から、［WAN PPPoE］の 修正 ボタンをクリックします。

［ネットワーク接続　WAN PPPoE］画面に切り替わります。

3 ［切断］ボタンをクリックして、インターネット側への接続を切断します。

［ステータス］欄が「無効」に切り替わったことを確認してください。

4 ［詳細設定］ボタンをクリックします。

［詳細設定　WAN　PPPoE］画面に切り替わります。

5 IP設定のプルダウンメニューを［IPアドレスを固定設定する］にして、［IPアドレス］、［サブネットマスク］にプロバイダから指定されたIPアドレスをそれぞれ設定します。

6 DNSサーバのプルダウンメニューを［DNSサーバアドレスを固定設定する］にして、［プライマリDNSサーバ］［セカンダリDNSサーバ］に、プロバイダから指定されたIPアドレスをそれぞれ設定します。

7［OK］ボタンをクリックします。

［ネットワーク接続　WAN PPPoE］画面に切り替わります。

8［接続］ボタンをクリックします。

［ステータス］欄が「処理中」に切り替わったことを確認してください。

9［OK］ボタンをクリックします。［ネットワーク詳細設定］画面に戻ります。

10 接続状況を確認するには、サイドバーから［接続状況］アイコンをクリックします。

以上で、固定IPアドレス付与サービスを利用しているときの設定は終了です。「インターネットに接続する」〈P.4-12〉へ進んでください。

インターネットに接続する

かんたん設定ウィザードでの設定が終了したら、インターネットに接続できるかどうか確認してみます。

1　本商品に接続したパソコンで、Webブラウザを起動します。

※画面は、Windows® XPでMicrosoft® Internet Explorer 6を使用した場合の例です。

2　アドレスを入力する欄に、ホームページアドレス「http://www.ntt.co.jp/」と入力します。

3　キーボードの［Enter］キーを押します。

左のようなホームページが表示されたら、正しく接続されています。（表示例は2003年10月現在のものです。）

以降、追加のパソコンがある場合は、ほかのパソコンを本商品につなぐだけで、インターネットに接続できるようになります。（もしも接続できない場合は、第3章を参照し、パソコンの設定を確認してください。）
なお、ネットワークゲームのご利用や無線LAN、音声/ビデオチャット等を行う際は、機能詳細取扱説明書（PDFファイル）を参照し、設定を行ってください。

ワンポイント

本商品はUPnP（Universal Plug and Play）に対応しています。UPnP対応アプリケーション（Windows® Messengerなど）を使用する場合、特別な設定なしに音声通話やビデオチャット等を利用できます。

※ UPnPはWindows®Me/XPでのみ使用できます。Windows® Meの場合は、［コントロールパネル］－［アプリケーションの追加と削除］で［ユニバーサルプラグアンドプレイ］をインストールしてください。詳しくはWindows ®のオンラインヘルプをご覧ください。

第5章 付録

故障かなと思ったら

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、ここを読んで対処してください。

最初に次の点を確認してください

■本商品以外の機器に付属している取扱説明書もご確認ください

本商品と接続している、ADSLモデム / Bフレッツ用回線終端装置や、パソコン、LANカード / LANボードに付属の取扱説明書をもう一度ご確認ください。本商品以外の部分でトラブルが発生している可能性もあります。

■フレッツの契約、プロバイダとの契約、フレッツ・ADSLまたはBフレッツの工事が完了していることをご確認ください

ご不明な点があれば、プロバイダまたは当社サービス取扱所にお問い合わせください。

■プロバイダから通知された接続ユーザ名等の情報をご確認ください

本商品で設定した内容が、プロバイダの情報と合っているかどうか、再度ご確認ください。スペルミスや、全角・半角の間違い、接続パスワードの大文字・小文字の間違いなどにもご注意ください。

■ネットワークの管理者がいる場合は、管理者にご確認ください

企業などでお使いの場合で、ほかに管理者の方がいる場合は、管理者にご確認ください。

設置に関するトラブル

トラブルが発生している箇所を見つけるために、次のようにチェックし、該当する対策をお読みください。

次の順にチェックしてください

a. 本商品前面の Power ランプは点灯していますか？ （P5-3 へ）
b. 本商品前面の WAN ランプは点灯していますか？ （P5-3 へ）
c. 本商品前面の Link/Act ランプは点灯していますか？ （P5-4 へ）
d. パソコンの IP アドレスが設定されていますか？ （P5-4 へ）
（IP アドレスの確認方法は、3-12 ページ以降を参照してください）
e. Web ブラウザで設定ページが表示されますか？ （P5-5 へ）
f. 設定後、本商品前面の PPPoE ランプが点灯していますか？ （P5-5 へ）
※ PPPoE 以外で接続している場合は、PPPoE ランプは点灯しません。
g. インターネットに接続できましたか？ （P5-6 へ）

a. 本商品前面のPowerランプが点灯しない

症状	原因と対策
Powerランプが点灯しない	●電源アダプタ（電源プラグ）が電源コンセントから外れていないか確認してください。 ●電源アダプタのコネクタが、本商品背面の電源アダプタ接続端子に差し込まれていることを確認してください。 ●電源アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動した電源コンセントに差し込まれている場合は、壁などの電源コンセントに直接接続してください。（パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまいます。） ●電源コードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

b. 本商品前面のWANランプが点灯しない

症状	原因と対策
WANランプが点灯しない	●LANケーブルが、本商品のWANポートに正しく接続されているかを確認してください。 ●本商品のWANポートに接続されたLANケーブルが、ADSLモデム / Bフレッツ用回線終端装置に正しく接続しているかを確認してください。 ●ADSLモデム / Bフレッツ用回線終端装置の電源が入っていることを確認してください。 ●サービスを受けられない状態か、または回線の設定に問題があることが考えられます。プロバイダとの契約およびフレッツ・ADSL / Bフレッツの工事が完了しているか確認してください。 ●ケーブルが、本商品のWANポートとADSLモデム / Bフレッツ用回線終端装置の両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。

当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

c. 本商品前面のLink/Actランプが点灯しない

症状	原因と対策
Link/Actランプが点灯しない	●パソコンに電源が入っていることを確認してください。 ●LANカード / LANボードがパソコンに正しく設定されているかを確認してください。 ●LANケーブルが本商品のLANポートとパソコンの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。 ●本商品に付属しているLANケーブルをお使いください。 ●再度本書の「パソコンと本商品をつなぐ」〈P.3-11〉を参照して配線の確認をしてください。

各パソコンメーカもしくは当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

d.パソコンのIPアドレスが設定されていない

症状	原因と対策
パソコンのIPアドレスが「192.168.1.x」に設定されていない	●「本商品とパソコンとの接続を確認する」〈P.3-12〉に従って、パソコンの設定が「IPアドレスを自動取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。 また、パソコンのIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 ① パソコンの電源をOFFにしてから、再度パソコンの電源をONにする。 ② 「パソコンのネットワーク設定を行う」〈P.3-2〉以降を参照して、パソコンのネットワークの設定を行う。 ●本商品のDHCPサーバ機能がOFFになっている可能性があります。「本商品を初期化する」〈P.5-10〉に従って、本商品の設定を初期化してください。

各パソコンメーカへお問い合わせください。

e. Webブラウザで設定ページが表示されない

症状	原因と対策
パソコンから本商品に接続できない	パソコンのネットワーク設定が間違っていないかどうか、「パソコンのネットワーク設定を行う」〈P.3-2〉以降を参照して確認してください。
設定ページが表示されない	WebブラウザやOSの設定で「プロキシサーバを使用する」になっている場合、本商品の設定ページが表示されないことがあります。
設定ページが開けない または、設定ページの操作が正常にできない	お使いのWebブラウザの設定で、JavaScriptを有効に設定してください。 P.1-7の「STOP お願い 」の「WebブラウザでJavaScriptが使用できるかどうか、設定を確認してください」に、設定の一例が掲載されています。参考にしてください。

各パソコンメーカへお問い合わせください。

f. 本商品前面のPPPoEランプが点灯しない

症状	原因と対策
PPPoEランプが点灯しない	●プロバイダから送られている接続ユーザ名が合っていることを確認してください。 → フレッツ・ADSL、Bフレッツで接続する場合の接続ユーザ名は、「******@******.ne.jp 」のように、@以下のプロバイダのアドレスまですべて入力する必要があります。プロバイダからの接続ユーザ名と接続パスワードを再確認して正しく設定してください。 ●プロバイダから送られてくる接続ユーザ名と接続パスワードは、大文字、小文字が区別されます。プロバイダから指定されたとおりに設定してください。その後、接続　パスワードをもう一度入力し直してください。 ●DNSサーバの設定をしていない → プロバイダからDNSサーバのIPアドレスが指定されている場合は、PPPoEの［詳細設定］画面でDNSサーバのIPアドレスを入力してください。 ●PPPoEの再接続をしてください →［詳細設定］画面で設定を変更したら、［ネットワーク接続 WAN PPPoE］画面の［切断］ボタンをクリックし、再度［接続］ボタンをクリックしてください。

g. インターネットに接続できない

症状	原因と対策
接続が成功してもホームページが開けない	●DNSサーバのアドレスが間違っている → 自動取得できないプロバイダの場合は、プロバイダから指定されたDNSサーバのアドレスをプロバイダからの情報に従って設定する必要があります。 「本商品の設定を行う」の手順12（①～⑧）〈P.4-7～〉に従って、［DNSサーバアドレスを固定設定する］をクリックし、［プライマリDNSサーバ］［セカンダリDNSサーバ］を設定してください。

ご契約のプロバイダへお問い合わせください。

ご利用開始後のトラブル

症状	原因と対策
インターネットへの接続が時々切れてしまう	●フレッツ・ADSLの場合、設置場所が当社局舎から離れていると、通信が切断される場合があります。 ●幹線道路や鉄道の近隣では、通信が切断される場合があります。 ●冷蔵庫、TV、電子レンジなど、ノイズを発生させる要因がある機器の上や横に置かれている場合は、その機器から離してください。 ●セキュリティ装置が設置されていませんか？ 宅内にセキュリティ装置が設置されている場合は、別途配線工事が必要になる場合があります。特に集合住宅の場合は、管理会社、管理組合にお問い合わせください。（セキュリティシステム、火災報知器、ガス検知機など）

当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

症状	原因と対策
使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.1.x は、ハードウェアのアドレスが....と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	[OK] ボタンをクリックし、次の手順でIPアドレスを再取得してください。なお、このエラーが表示された場合、別のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記手順を行ってください。 **●Windows® XPの場合** (1)[スタート]－[コントロールパネル]－[ネットワークとインターネット接続]－[ネットワーク接続]をクリックします。 (2)[ローカルエリア接続]アイコンを右クリックして[状態]を選択します。 (3)[ローカルエリア接続の状態]ダイアログの[サポート]タブをクリックして、[修復]ボタンをクリックします。IP アドレスが「192.168.1.x 」になることを確認します。 **●Windows® 2000の場合** (1)[プログラム]－[アクセサリ]－[コマンドプロンプト]をクリックします。 (2)「ipconfig /renew」を入力して[Enter]キーを押します。 (3)IPアドレスが[192.168.1.x]になることを確認します。 **●Windows® Me/98の場合** (1)[スタート]－[ファイル名を指定して実行]をクリックします。 (2)「winipcfg」を入力して[OK]をクリックします。 (3)Ethernetアダプタ情報のプルダウンウィンドウから使用しているEthernetアダプタ名を選択します。 (4)[解放]をクリックして、IPアドレスが [0.0.0.0] になることを確認します。「IPアドレスはすでに解放されています」と表示されたときは、[OK]をクリックして(5)へ進んでください。 (5)[書き換え]をクリックして、IPアドレスが[192.168.1.x]になることを確認します。 **●Mac OS® Xの場合** (1)Macintoshを再起動させます。 (2)アップルメニューから[システム環境設定]－[ネットワーク]を選択します。 (3)[設定](または[表示])で[(内蔵)Ethernet]を選択し、[IPアドレス]が[192.168.1.x]になることを確認します。 **●Mac OS® 9.x / 8.xの場合** (1)Macintoshを再起動させます。 (2)アップルメニューから[コントロールパネル]－[TCP/IP]を選択します。 (3)[経由先]で[Ethernet]を選択し、[IPアドレス]が[192.168.1.x]になることを確認します。

各パソコンメーカもしくは当社のサービス取扱所へお問い合わせください。

症状	原因と対策
前回はできたのにインターネット接続ができない（1）	本商品のPPPoE接続が切断状態になっている可能性があります。 PPPoE接続の場合は、設定ページの［ネットワーク詳細設定］から、接続する「WAN PPPoE」の［修正］ボタンをクリックして［ネットワーク接続 WAN PPPoE］画面を表示し、［接続］ボタンをクリックします。
前回はできたのにインターネット接続ができない（2）	本商品の電源を切ったあとは、5 秒以上の間隔をあけてから電源をONにしてください。 パソコンにIP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に電源がONになって、装置内部の処理が完了している必要があります。 下記のどちらかの方法で確認してください。 ① パソコンの電源をOFFにして、再度パソコンの電源をONにします。 起動後、「本商品とパソコンとの接続を確認する」〈P.3-12〉以降を参照して再度パソコンのIP アドレスを確認してください。 ② 次の手順でIP アドレスを再取得してください。 **●Windows® XPの場合** (1) ［スタート］－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット接続］－［ネットワーク接続］をクリックします。 (2) ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックして［状態］を選択します。 (3) ［ローカルエリア接続の状態］ダイアログの［サポート］タブをクリックして、［修復］ボタンをクリックします。IP アドレスが［192.168.1.x ］になることを確認します。 **●Windows® 2000の場合** (1) ［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックします。 (2)「ipconfig /renew 」と入力して、［Enter］を押します。 (3) IP アドレスが［192.168.1.x］になることを確認します。 **●Windows® Me/98の場合** (1) ［スタート］－［ファイル名を指定して実行］をクリックします。 (2)「winipcfg」と入力して［OK ］をクリックします。 (3) Ethernetアダプタ情報のプルダウンメニューから使用しているEthernetアダプタ名を選択します。

(4)「解放」をクリックして、IPアドレスが［0.0.0.0 ］になっていることを確認します。「IPアドレスはすでに解放しています」と表示されたときは［OK］をクリックして、(5) へ進んでください。
(5)「書き換え」をクリックして、IP アドレスが［192.168.1.x ］になることを確認します。

●Mac OS® Xの場合

(1)Macintoshを再起動させます。
(2)アップルメニューから［システム環境設定］－［ネットワーク］を選択します。
(3)［設定］（または［表示］）で［（内蔵）Ethernet］を選択し、［IPアドレス］が［192.168.1.x］になることを確認します。

●Mac OS® 9.x / 8.xの場合

(1)Macintoshを再起動させます。
(2)アップルメニューから［コントロールパネル］－［TCP/IP］を選択します。
(3)［経由先］で［Ethernet］を選択し、［IPアドレス］が［192.168.1.x］になることを確認します。

前回はできたのにインターネット接続ができない（3）	●正常な切断操作をせずに回線を切断した → フレッツ・ADSLやBフレッツでは、正常な切断操作をせずに回線を切断した場合、しばらくの間再接続ができなくなることがあります。 「正常な切断操作をしない場合」とは？ ・接続中にADSLモデムやBフレッツ用回線終端装置の電源を切った場合 ・接続中に電話機コード、LANケーブルを抜いた場合 ・接続中に本商品の電源を切った場合 このようなケースで切断したときは、時間をおいてから再接続してください。

各パソコンメーカへお問い合わせください。

5
付録

本商品を初期化する

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して購入時の状態に戻すことをいいます。
初期化は本商品背面のリセットスイッチを使用して行います。

※設定ページから初期化することもできます。詳細は本商品に付属のCD-ROMに収録されている「機能詳細取扱説明書」（PDFファイル）の「6章 保守・管理」の「本商品の初期化」をご覧ください。

本商品がうまく動作しない場合や、今までとは違う回線に接続し直す場合、またパスワードを忘れたりIPアドレスを間違えたりして本商品にアクセスできなくなった場合には、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

! ご注意

- **いったん初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、購入時の設定に戻りますのでご注意ください。**
- **初期化が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。**

※本商品の設定を変更した場合は、付属のCD-ROMに収録されている「機能詳細取扱説明書」（PDFファイル）の「9章 資料」の「設定記入シート」へ記入しておくことをお勧めします。

1 **本商品の電源アダプタを抜きます。**

2 **本商品のリセットスイッチを押しながら、電源アダプタを差し込みます。Statusランプが点滅し終わるまでリセットスイッチは押し続けてください。**
Statusランプが点滅し終わったら、初期化は完了です。

本商品のファームウェアをアップデートする

本商品では、ファームウェアをアップデートすることができます。
アップデートは、LAN内のパソコンにダウンロードしたファームウェアや、CD-ROMに収録されたファームウェアを使用して行います。

ここでは、パソコンのハードディスクにダウンロードしたファイルを使ってアップデートする方法について解説します。

ご注意

ファームウェアアップデート中は本商品の電源を切らないでください。
また、ファームウェアアップデート中はパソコン等を利用した通信が一切出来なくなります。

1　最新のファームウェアを、当社のホームページよりダウンロードします。

「http://www.ntt-east.co.jp/ced」または「http://www.ntt-west.co.jp/kiki」より、本商品のバージョンアップ情報のページからダウンロードしてください。

2　Webブラウザを起動して、設定ページを開きます。

3　サイドバーから［カスタム設定］アイコンをクリックします。

4　［カスタム設定］画面から［ファームウェアアップデート］ボタンをクリックします。

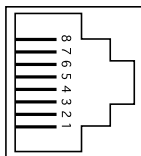
5　［参照］ボタンをクリックして、ダウンロードしたファームウェアのファイルを選択し、［OK］ボタンをクリックします。

6　ファームウェアアップデートを確認する画面に切り替わるので、［OK］ボタンをクリックします。

ファームウェアのアップデートが開始されます。
完了すると、自動的に本商品が再起動されます。

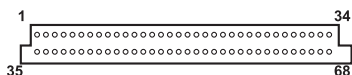
※設定ページで設定した内容は再度入力する必要があります。付属のCD-ROMに収録されている「機能詳細取扱説明書」（PDFファイル）の「9章 資料」の「設定記入シート」に内容をお控えのうえ、バージョンアップを行ってください。

インタフェースについて

● WAN / LANポート　（10BASE-T / 100BASE-TX）

ピン番号	略称	仕様
1	TD ＋	出力
2	TD －	出力
3	RD ＋	入力
4	－	未使用
5	－	未使用
6	RD －	入力
7	－	未使用
8	－	未使用

● USB ポート

ピン番号	略称	仕様
1	VCC	+5 VDC
2	D-	Data -
3	D+	Data +
4	GND	Ground

● PCカード TypeⅡ （CardBus）

ピン	略称	仕様	ピン	略称	仕様
1	GND	Ground	36	CCD1#	Card Detect 1
2	CAD0	Address/Data 0	37	CAD2	Address/Data 2
3	CAD1	Address/Data 1	38	CAD4	Address/Data 4
4	CAD3	Address/Data 3	39	CAD6	Address/Data 6
5	CAD5	Address/Data 5	40	RSRVD	Reserved
6	CAD7	Address/Data 7	41	CAD8	Address/Data 8
7	CCBE0#	Command/Byte Enable 0	42	CAD10	Address/Data 10
8	CAD9	Address/Data 9	43	CVS1	
9	CAD11	Address/Data 11	44	CAD13	Address/Data 13
10	CAD12	Address/Data 12	45	CAD15	Address/Data 15
11	CAD14	Address/Data 14	46	CAD16	Address/Data 16
12	CCBE1#	Command/Byte Enable 1	47	RSRVD	Reserved
13	CPAR	Parity	48	CBLOCK#	Lock
14	CPERR#	Parity error	49	CSTOP#	Stop transfer cycle
15	CGNT#	Grant	50	CDEVSEL#	Device Select
16	CINT#	Interrupt	51	Vcc	Vcc
17	Vcc	Vcc	52	Vpp2	Vpp2
18	Vpp1	Vpp1	53	CTRDY#	Target Ready
19	CCLK	CCLK	54	CFRAME#	Address or Data phase
20	CIRDY#	Initiator Ready	55	CAD17	Address/Data 17
21	CCBE2#	Command/Byte Enable 2	56	CAD19	CAD19
22	CAD18	Address/Data 18	57	CVS2	
23	CAD20	Address/Data 20	58	CRST#	Reset
24	CAD21	Address/Data 21	59	CSERR#	System Error
25	CAD22	Address/Data 22	60	CREQ#	Request
26	CAD23	Address/Data 23	61	CCBE3#	Command/Byte Enable 3
27	CAD24	Address/Data 24	62	CAUDIO	Audio
28	CAD25	Address/Data 25	63	CSTSCHG	
29	CAD26	Address/Data 26	64	CAD28	Address/Data 28
30	CAD27	Address/Data 27	65	CAD30	Address/Data 30
31	CAD29	Address/Data 29	66	CAD31	Address/Data 31
32	RSRVD	Reserved	67	CCD2#	Card Detect 2
33	CCLKRUN#	CCLKRUN#	68	GND	Ground

オプションについて（別売）

別売りのオプションを利用することで、下記のような機能拡張が可能になります。ご利用の際は、機能詳細取扱説明書または各別売オプション機器の取扱説明書をご覧ください。

 お知らせ

最新のオプション機器の販売状況につきましては、当社のホームページをご参照ください。

当社ホームページ ： http://www.ntt-east.co.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

■Web Caster 7000VoIPユニット

本商品にIP電話機能を追加するための別売オプションユニットです。

詳しくは、Web Caster 7000VoIPユニットの取扱説明書をご覧ください。

■Web Caster FT-STC-Pa

本商品に接続することでIEEE802.11aアクセスポイント機能を追加することができる無線LANカードです。
また、パソコンに取り付けることでIEEE802.11aクライアントとしても使用できます。

詳しくは、機能詳細取扱説明書「6章 オプション設定」の「無線LANの設定」または各別売オプション機器の取扱説明書をご覧ください。

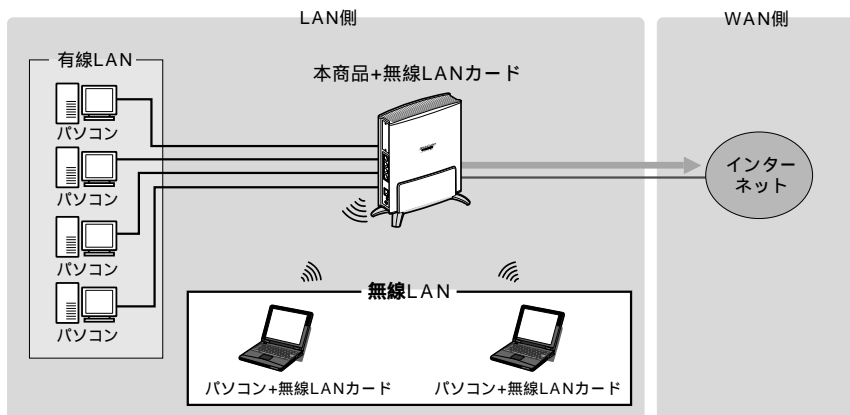
■Web Caster FT-STC-Pb

本商品に接続することでIEEE802.11bアクセスポイント機能を追加することができる無線LANカードです。
また、パソコンに取り付けることでIEEE802.11bクライアントとしても使用できます。

詳しくは、機能詳細取扱説明書「6章 オプション設定」の「無線LANの設定」または各別売オプション機器の取扱説明書をご覧ください。

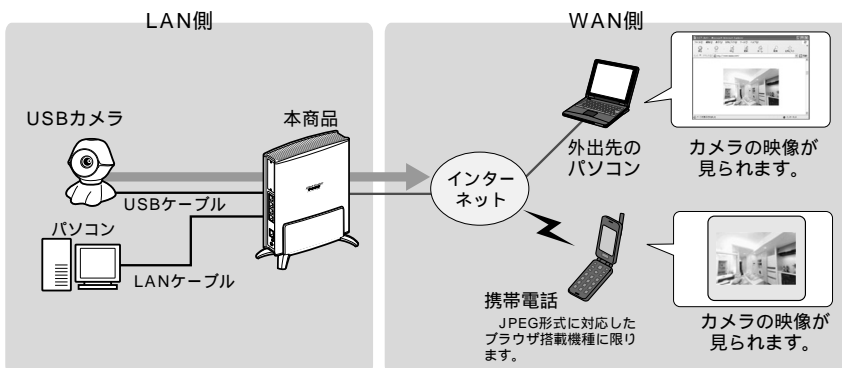
■ Web Caster FT-STC-Pa/g

本商品に接続することでIEEE802.11aアクセスポイントまたはIEEE802.11gアクセスポイント機能を追加することができる無線LANカードです。
また、パソコンに取り付けることでIEEE802.11a、IEEE802.11gクライアントとしても使用できます。

詳しくは、機能詳細取扱説明書「10章 追加機能」の「Web Caster FT-STC-Pa/gを利用した無線LANの設定」または各別売オプション機器の取扱説明書をご覧ください。

■ USBカメラ「EE260」

本商品に接続することでカメラサーバ機能を追加できるUSB接続のカメラです。

詳しくは、機能詳細取扱説明書「6章 オプション設定」の「USBカメラの設定」または各別売オプション機器の取扱説明書をご覧ください。

5
付録

用語集

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。さらに詳しくは、付属のCD-ROMに収録されている「用語解説」を参照してください。

【アルファベット順】

■ ADSL (Asymmetric Digital Subscriber Line：非対称ディジタル加入者回線)

通信速度が上り方向と下り方向で非対称なデータ通信技術です。家庭に普及しているアナログの電話線を使い、インターネットへの高速で安価な接続環境を提供します。

■ Bフレッツ

NTT東日本・NTT西日本が提供する、光ファイバをアクセスラインとするインターネット通信料完全定額制サービスです。光ファイバならではの高速通信が利用できます。

■ DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）

コンピュータやネットワーク機器へIPアドレスやサブネットマスクなどの設定を自動で行なうためのプロトコルです。

■ DNS（Domain Name System）

IPアドレスやドメイン名を管理する機能です。DNSは、ホスト名からIPアドレス、またはIPアドレスからホスト名を調べることができます。

■ IPアドレス

TCP/IPを使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するためのアドレスです。IPアドレスは32bitの値を持ち、8bitずつ10進法で表現した数値を、ピリオドで区切って表現します。

■ LAN（Local Area Network）

ひとつの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成されている小規模なネットワークです。

■ MACアドレス（Media Access Control Address）

ネットワークアダプタなどのハードウェアに付けられた固有のアドレスです。ハードウェアの利用者が、このアドレスを決めることはできません。

■ PPPoE（Point to Point Protocol over Ethernet）

フレッツ・ADSLなどの常時接続型サービスで使用されるユーザ認証技術の1つです。PPPoEでは、Ethernet上でPPPによる接続を行います。

■ TCP/IP（Transmission Control Protocol/Internet Protocol）

インターネットやLANで一般的に使われるプロトコルです。

■ UPnP（Universal Plug and Play）

インターネットで標準になっている技術を基にして、家庭内にあるパソコンやAV機器、電話、家電製品などをネットワークにつなぐだけで利用可能にすることを目指した技術です。

■ 10BASE-T

Ethernetの通信方式の1つです。10Mbit/sの伝送速度を持ちます。

■ 100BASE-TX

Ethernetの通信方式の1つです。100Mbit/sの伝送速度を持ちます。

【あいうえお順】

■ クライアント

LANを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス（ファイル/データベース/メール/プリンタなど）を受けるコンピュータのことです。

■ グローバルIPアドレス

インターネット上の通信相手を特定するために使うIPアドレスの種類のひとつです。
グローバルIPアドレスは、インターネット上で唯一のアドレスで、同じアドレスは存在しません。

■ サーバ

LANを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス（ファイル/データベース/メール/プリンタなど）を提供するコンピュータのことです。例えば、インターネット上ではWebサーバがホームページを提供します。

■ ファームウェア

ハードウェアを動作させるプログラムです。

■ プライベートIPアドレス

インターネットと直接接続されていないネットワークで使うIPアドレスです。

■ フレッツ・ADSL

NTT地域会社（東日本、西日本）から提供されている、加入電話回線または専用回線を使ったADSL接続サービスです。フレッツ・ADSLではユーザ認証にPPPoEが使われています。

■ プロトコル

ネットワーク上の機器間で正しく通信をするための決まりごとのことです。

■ ルータ

複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置のことです。

索引

[A～Z]

[ア行]

[カ行]

[サ行]

[タ行]

[ハ行]

[マ行]

[ヤ行]

仕様一覧

■ハードウェア仕様

項目		仕様
ネットワークインタフェース	WAN側ポート	RJ45　1ポート（10BASE-T/100BASE-TX）
	LAN側ポート	RJ45　4ポート（10BASE-T/100BASE-TX）
拡張インタフェース	PCカードスロット	PCカード TYPE II（CardBus）　2スロット
	USBポート	USB 2.0 シリーズAプラグ　2ポート
	専用拡張スロット	専用拡張ユニット用　1スロット
その他通信インタフェース	赤外線ポート	IrDA 1ポート
ランプ表示	LEDインジケータ	Power（1）、Status（1）、Link/Act（4）、10/100M（4）、WAN（1）、PPPoE（1）、IrDA（1）
操作部	スイッチ	リブートおよび設定初期化用スイッチ（1）
電源		電源アダプタ使用　AC 100V ± 10 V（50 / 60 Hz ± 1 Hz）
消費電力		最大24W
動作環境		周囲温度：0～40℃ 湿度　　：35～80%（結露しないこと）
外形寸法		約36(W)×約222(H)×約167(D) mm　（本体のみ）
質量		約0.6kg（本体のみ）
電磁妨害波規格		VCCIクラスB

■ソフトウェア仕様

項目		仕様
ルータ機能	PPPoE機能	複数PPPoE接続
		PAP / CHAP認証
		固定IPアドレス付与対応
		自動接続、無通信監視タイマによる自動切断
		Unnumbered接続
	ルーティング機能	スタティックルーティング
		ルーティングプロトコル対応（RIPv1、RIPv2）
		ローカルサーバ
		UPnP対応
	アドレス変換	NAPT
	DHCP機能	WAN側：DHCPクライアント
		LAN側：DHCPサーバ
	VPN機能	IPSec、PPTP対応
	セキュリティ機能	IPパケットフィルタリング
		簡易DMZ
		DoS攻撃検出
		ステートフルパケットインスペクション
サーバ機能		カメラサーバ（オプションのUSBカメラ「EE260」追加時）
		Webサーバ（市販のPCカードメモリ追加時）
		FTPサーバ（市販のPCカードメモリ・USBハードディスク追加時）
無線LANアクセスポイント機能		IEEE802.11a準拠（オプションの「Web Caster FT-STC-Pa」・「Web Caster FT-STC-Pa/g」追加時）
		IEEE802.11b準拠（オプションの「Web Caster FT-STC-Pb」・「Web Caster FT-STC-Pa/g」追加時）
		IEEE802.11g準拠（オプションの「Web Caster FT-STC-Pa/g」追加時）
IP電話サービス対応機能		SIP対応（オプションの「Web Caster 7000 VoIPユニット」追加時）
設定方法		Webブラウザによる

保守サービスのご案内

●**保証について**

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●**保守サービスについて**

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。
保守サービスの種類は

定額保守サービス	● 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	● 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ● 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

●**故障の場合は**

故障した場合のお問合せは 0120-242751番へご連絡ください。

●**その他**

定額保守サービスの料金については、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■ NTT東日本エリアでご利用のお客様

（新潟県・長野県・山梨県・神奈川県以東の各都道県）

お問い合わせ先： 0120-970413

■ NTT西日本エリアでご利用のお客様

（富山県・岐阜県・愛知県・静岡県以西の各府県）

お問い合わせ先： 0120-109217（トークニイーナ）

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ： http://www.ntt-east.co.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリアでご利用のお客様

（新潟県・長野県・山梨県・神奈川県以東の各都道県）

お問い合わせ先: フリーアクセス 0120−970413

■NTT西日本エリアでご利用のお客様

（富山県・岐阜県・愛知県・静岡県以西の各府県）

お問い合わせ先: 0120−109217 （トークニイーナ）

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

本2414-3（2005.4）
WBC 7000トリセツ
PMN-03-10/WBC7000-B